

愛知川宿周辺には、あっちこっちに「愛知川びん細工手まり」がたくさん！



愛荘町 観光ボランティアガイドと 一緒にまちあるきしませんか？

ガイドを希望される場合は、2週間前までに申込書を提出ください（申込書は愛荘町ホームページからダウンロードできます）。案内料は無料ですが、ガイド入込につき交通費として1,000円を申し受けます。なお、20人に1人のガイドを目安としています。また、昼食をはさむガイドを希望される場合は、交通費とは別に1,000円を申し受けます。案内中の交通費や有料施設については実費を負担いただきます。また、案内途中の事故やケガについてはその責任は負いません。※日程等によりガイドをお受けできない場合があります。

お問合せ先  
 ●一般社団法人愛荘町愛知川観光協会  
 TEL.0749-42-7683  
 FAX.0749-42-7689  
 E-mail:e-info@aisho-kanko.com

●愛荘町 農林商工課  
 TEL.0749-37-8051  
 FAX.0749-37-4444  
 E-mail:norin@town.aisho.lg.jp

QRコード  
 愛荘観光ナビはこちら

発行年 令和元年(2019年)9月

1 愛知川宿はどんな規模だった？

幕府道中奉行所が作成した「中山道宿村大概帳」によれば、天保十四年(1843年)の愛知川宿は家数199軒で、南北五町三四間という長さ(約607m)にわたる町並みを形成しており、人口は男性471人、女性458人の計929人の規模でした。また、大名や公家などが宿泊する施設である本陣と脇本陣は1軒ずつ、一般の旅人が宿泊する旅籠屋は28軒ありました。この旅籠屋の数は、近江国内では鳥居本宿、守山宿に次いで多く、愛知川が増水して渡れないときに、大勢の旅行者をしばらく滞在させられるだけの宿舎が必要だったことが伺えます。

2 愛知川宿の名物は??

宿場に住む人々は、農業の傍ら宿泊業(旅籠屋)や飲食業(茶店)、交通労働(往還の諸稼ぎ)などを営んでいました。また、愛知川宿の名物としては、1765年の文献では蕪漬が紹介されていますが、1805年の文献では一深茶という煎茶が名産であったと書かれています。お茶には菓子がつきものですから、愛知川宿には菓子店が多く存在していたようです。

3 歴史物語

中山道愛知川宿に伝わる歴史物語

ものづくり・匠

UCC上島珈琲(株) 滋賀工場



愛知川びんてまりの館



西川和楽器

近江上布伝統産業会館



藤居本家



広域MAP

御幸橋  
 愛知川は人取川とも言われていたことから、天保2年(1831年)、四人の有志が私財を投げ打って無賃橋を完成させた。現在の御幸橋は昭和36年(1961年)の国道8号の新設とともに架橋されたもの。橋名の由来は明治11年(1878年)秋の天皇巡幸を記念して建設された木橋が御幸橋と名づけられたことによる。大正期と思われる橋の欄干跡も見ることができる。

無賃橋跡

御幸橋跡

近江上布伝統産業会館  
 近江の麻織物は室町時代から続く湖東地域の伝統産業。その産地に昭和60年に麻織物と産地の発信を目的として近江上布伝統産業会館は建設された。麻織物を「知る」「学ぶ」「体験する」「買う」を兼ね備えた施設として、伝統技術の継承に取り組んでいる。麻を身近に感じていただくため、機織りや手績みなどさまざまな体験を事前予約制で受付(体験内容によって参加費や所要時間が異なる)。また、館内にあるショップでは、ハンカチやふきん、洋服など日常生活で使える麻製品や会館で手織りしたタペストリー、小物類などを販売。

近江鉄道  
 1898年(明治31年)に彦根-愛知川間で開業、120年の歴史をもつ私鉄。走行時に車内に響き渡る音から「ガチャコン」の愛称で親しまれている。町内には近江鉄道の撮影スポットがいっぱいぜひお気に入りのスポットを探してみてください。

豊満神社への道標  
 「鎮神豊満大明神」と記された道標は1806年(文化3年)以前に建てられたもの。町指定文化財に指定されている。

歌詠橋  
 中山道の宇曾川に架かる将門伝説の場で、将門を討つて都に上る佐藤太秀郷に突然将門の生首が舞い掛かる。秀郷がとっさに歌を所望したところ、歌に詰まって首が地面に落ちたということから名が付いたという。あるいは、首のない胴体が舞って来たが、首がないので歌が詠めなかったと。

将門塚  
 山塚古墳と呼ばれる円墳で、将門の首塚とも胴塚ともいわれ、頂上部に将門を祀る祠がある。ここに将門の遺骸を葬ったといわれ、歌詠橋とも近い。

ものづくり・匠 ● 季節の花・撮影スポット ● 飲食・土産 ● 桜スポット

中山道愛知川宿の位置と交通手段の案内

交通案内

電車

- JR福井線からタクシーで約10分
- JR能登川駅から近江鉄道バス「角能線」乗車、「不飲橋」または「愛知川商店街」停留所下車すぐ
- 近江鉄道愛知川駅から徒歩約10分

車

- 名神高速道路「湖東三山スマートインターチェンジ」下車約15分

モデルコース

1	2	3
簡単 まちあるきコース 所要 約1.5時間 所要料 約1,000円	じっくり まちあるきコース 所要 約3.5時間 所要料 約2,000円	レンタサイクル 利用コース 所要 約4.5時間 所要料 約2,500円
中山道愛知川宿観光交流館	中山道愛知川宿観光交流館	愛知川コミュニティハウス るーぶる愛知川
宝満寺	近江上布伝統産業会館	豊満神社
ののすておみやげ屋	愛知川びんてまりの館	愛知川橋あみつき公園
愛知川コミュニティハウス るーぶる愛知川	愛知川コミュニティハウス るーぶる愛知川	中山道愛知川宿観光交流館
しろ平老舗	UCC滋賀工場	藤居本家
中山道愛知川宿観光交流館	中山道愛知川宿観光交流館	西川和楽器
		愛知川コミュニティハウス るーぶる愛知川

近江乃国  
 中山道愛知川宿  
 まぢめぐり

本気と本物があふれる街道

滋賀県愛荘町を通る中山道65番目の宿場町「愛知川宿」は豊かな清水と交通の要衝地に恵まれたことから、江戸期よりのつくり職人文化が発達し、今も息づいています。ものづくりに携わる職人たちの「本気」と「本物」にぜひ触れてみてください。

本物さがしに出かけよう!

近江乃国